

## 平成 26 年度川崎市化学物質環境実態調査結果

市では、有害性情報や PRTR \* データ等を考慮して選定した未規制の化学物質について、市内の大気、公共用水域（水質、底質）を対象に環境調査を実施しています。平成 26 年度の調査物質及び調査結果は次のとおりです。この結果をもとに環境リスク評価を実施するなど、化学物質対策の推進に努めていきます。

\* PRTR(化学物質排出移動量届出制度)：

有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所外に運び出されたかというデータを把握、集計し、公表する仕組み

物質名	大気 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	河川	海域		主な用途等
		水質 ( $\mu\text{g}/\text{L}$ )	水質 ( $\mu\text{g}/\text{L}$ )	底質 ( $\mu\text{g}/\text{kg-dry}$ )	
2-アミノエタノール	0.0016～0.0044	—	—	—	洗剤の中和剤、農薬の溶剤、反応原料
1,4-ジオキサン	ND	—	—	—	繊維処理等の分散剤、潤滑剤
1,3,5-トリメチルベンゼン	0.090～1.2	—	—	—	染料等の原料、石油成分、
アクロレイン	0.037～0.34	—	—	—	医薬品等の原料、繊維処理剤
ホルムアルデヒド	0.95～10	—	—	—	合成樹脂の原料、防腐剤
クロロメタン	1.0～3.3	—	—	—	シリコン樹脂等の原料、自然由来
ノルマルヘキサン	0.48～43	—	—	—	石油成分、溶剤
エチレンオキシド	0.012～14	—	—	—	界面活性剤等の原料、抗菌剤
ナフタレン	0.048～4.2	—	—	—	合成樹脂等の原料、繊維防虫剤
キシレン	1.2～14	—	—	—	合成原料、溶剤、石油成分
バナジウム化合物	—	1.6～6.2	3.1～8.0	—	特殊鋼の原料、石油燃焼に伴う副産物
ヘキサプロモシクロデカン	—	ND～0.00055	ND	—	樹脂用難燃剤、繊維用難燃剤
1-ノナノール	—	ND～0.022	ND～0.004	2.3～3.7	可塑剤、界面活性剤等の原料、食品添加物(香料)
デシルアルコール	—	ND～0.008	ND	2.7～13	農薬、界面活性剤等の原料、食品添加物(香料)
エチレンジアミン四酢酸	—	7.5～170	—	—	キレート剤、分析用試薬、化粧品添加物
ニトリロ三酢酸	—	0.83～2.7	—	—	キレート剤、放射能汚染除去剤
ピリジン	—	0.07～0.09	0.08～0.18	—	溶剤、抗菌剤原料
ヒドロキノン	—	0.0069～0.15	0.0016～0.12	—	染料等の原料、重合防止剤、写真の現像薬

表中の数値は最小値～最大値を示しています。ND：検出下限値\*未満 —：調査していない項目

\*検出下限値：各分析方法で調査対象物質を分析したとき、安定した精度で検出できる最低濃度

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000069111.html>

問い合わせ：環境局企画指導課化学物質担当

TEL 200-2533 FAX 200-3922

## 川崎市内のゴルフ場における農薬使用状況調査結果

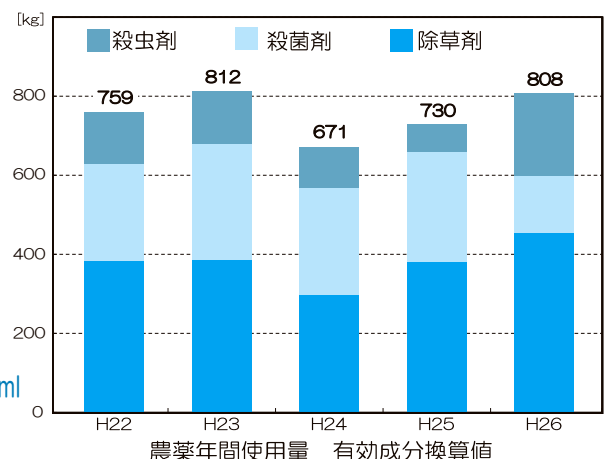
市では、市内ゴルフ場における農薬の使用状況の実態を把握するため、5箇所のゴルフ場を対象に、農薬使用状況調査を実施しています。

平成 26 年(1～12月)の農薬使用量は、有効成分換算値で 808kg であり、前年度に比べ 11%増加しました。なお、農薬の使用量や種類については、雑草や病気の種類によって増減します。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ：

<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-3-3-3-0-0-0-0.html>



問い合わせ：環境局企画指導課化学物質担当

TEL 200-2533 FAX 200-3922